



「平和であるためには、ただ祈ったり願ったりしているだけではなく、自分が平和にするための行動をしていかないといけない(3班)」

この言葉にあるように、修学旅行で学んだ“平和”について、“自分たちは何ができるか”をスライドにまとめ、1・2年生に発表しに行きました。

実際に広島に行って、より悲惨さを感じた皆さんからでてきた「被爆者の話をみんなに伝える」「いじめや差別をなくす」「戦争についてもっと知る・実際に見学に行く」「思いやりを大切にする」「ルールを守る」「他人事・昔の事と思わない」などの言葉を1・2年生に一生懸命伝えたこと、この行動こそ平和な世界にするための行動だと思います。今後も日々の生活で大切にしたいことを行動につなげていきましょう。

また、修学旅行で語り部さんからいただいた被爆アオギリのタネを育てた苗木を校門前に植えました。

1945年8月6日、爆心地から北東へ約1.3kmで被爆したアオギリは爆心地側の幹半分が熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、樹皮が傷跡を包むように成長を続け焦土の中で青々と芽を伊吹き、人々に生きる希望を与えました。平成23年の東日本大震災の年にも藤原中学校は修学旅行で広島に行き、アオギリの木が校門のところで大きく育っています。

今回植えたアオギリの苗



11年前に植えたアオギリの苗

